

第 12 回大野城市英語・日本語スピーチコンテスト実施要項

1 趣旨

国際感覚あふれる人材の育成を目指し、大野城市内及び近郊に在住、在勤、在学している次世代を担う青少年が習得に励む言語を使って自分の考えを発表する場を設け、母国語以外の言語によるコミュニケーション能力を向上させる。

また、本コンテストを実施するに当たり、生徒、児童が英語に対し興味・関心を持つことができる機会とすることで、青少年健全育成の一端を担うものとする。

併せて、多文化共生のまちづくりの観点から、異文化体験型の事業を併催し、市民一人一人の国際理解及び異文化理解の向上を図る。

2 主催

大野城市英語・日本語スピーチコンテスト実行委員会（以下「実行委員会」という。）

3 共催

大野城市、大野城市教育委員会

4 後援

大野城市国際交流協会

5 開催日時

令和 7 年 11 月 2 日（日） 9：00～17：00（予定）

6 開催会場

大野城まどかぴあ 小ホール

7 スピーチコンテストの部門及び応募条件

（1）英語部門（中学生の部）

ア 課 題 自由（各自で作成する）とする。

※生徒自身の考えや主張を英語でまとめた未発表のものとし、剽窃は厳に禁止する。

イ 参加資格 大野城市立中学校に在籍する中学生

※ただし、英語が第一言語・公用語・公用語に準ずる言語となっている国または地域に、通算 1 年以上滞在したことがある者を除く。

ウ 定 員 10 名

エ 制限時間 2 分 30 秒以上 3 分以内

オ 応募方法 所定の申込書及びスピーチ原稿を実行委員会に提出すること。

提出方法は、窓口提出、郵送、E-mail で提出すること。

なお、スピーチ原稿は、別途 word ファイルで提出すること。

カ その他 上位 3 名は、令和 7 年度福岡地区中学生英語スピーチ大会に出場する。

(2) 日本語部門

ア 課 題 自由（各自で作成する）とする。

※申込者の考えや主張を日本語でまとめた未発表のものとし、剽窃は厳に禁止する。

イ 参加資格 日本語を母国語としない外国籍を持つ人で、日本の滞在期間が通算 5 年以内であって、次のいずれかに該当する人

◆市内または大野城市近郊に在住、在学、在勤の人

◆大野城市国際交流協会員

ウ 定 員 10 名

エ 制限時間 4 分以上 5 分以内

オ 応募方法 所定の申込書及びスピーチ原稿を実行委員会に提出すること。

提出方法は、窓口提出、郵送、E-mail で提出すること。

【(1) (2) 共通注意事項】

◆応募多数の場合は、予備審査を実施し、提出された原稿の書類審査によって、出場者を決定する。

◆発表するスピーチ原稿は、未発表のもの（同じような順位の付くコンテストで発表していないもの、また、インターネット上の動画サイト、ホームページ、SNS 等で公開されていないもの）とし、剽窃は厳に禁止する。また、スピーチの際、絵や写真、動画、音源（テープ・CD など）等使用しないこととする。

◆スピーチの内容は、特定の宗教、政治または公序良俗に反するものではないものに限る。

◆スピーチは全て暗唱すること。スピーチ原稿等をメモとして持ち込むことは可能とするが、メモを見る頻度によっては、減点の対象とする。

◆スピーチの際、マイクを持つ及びステージを移動する行為については、減点対象とする。

◆出場の可否に関する通知は、応募者全員に行う。

◆当コンテストで過去に最優秀賞を受賞した者は、同じ部門への申込みはできない。

◆当コンテストの様子は、写真撮影等を行う。また当日の写真及びコンテストの結果は、市ホームページや広報誌、SNS 等に掲載し、広告を行うため、いずれにも掲載が可能な人に限る。なお、広報以外での目的には一切使用しない。

◆なお、写真等の掲載が困難な人は個別に相談すること。

◆スピーチ原稿の著作権は、実行委員会に帰属する。

◆スピーチ原稿を提出した後のスピーチ原稿内容の変更は不可とする。

◆提出されたスピーチ原稿の返却は行わないため、必要であれば事前にコピーをすること。

◆必ず所定の様式を使用すること。所定の様式以外での、応募は不可とする。

8 英語発表会の部門及び応募条件

(1) 英語部門（小学生の部）

ア 参加資格 大野城市立小学校に在籍する小学5、6年生

※ただし、英語が第一言語・公用語・公用語に準ずる言語となっている
国または地域に、通算1年以上滞在したことがある者を除く。

イ 定 員 20組

※ペアまたは、単独で申し込むことができる。

ウ 課 題 設定された課題を基にした会話形式

エ 応募方法 所定の申込書と下線部に語句を書き入れた課題を提出すること。
提出方法は、窓口提出、郵送、E-mailで提出すること。

オ 注意事項

- ◆ペアでの申込の場合は、課題の役（S1、またはS2）と相手役の名前を、申込書に記入すること。
- ◆ペアでの申込の場合は、両者とも申込書を提出すること。
- ◆単独での申込の場合は、S1の役を行う。S2（相手役）は事務局で調整する。
- ◆応募多数の場合は、応募順、学校間の偏りを考慮した上で、選出することとする。
- ◆出場の可否に関する通知は、応募者全員に行う。
- ◆発表会の様子は、写真撮影等を行う。また当日の写真及びコンテスト等の結果は、市ホームページや広報誌、SNS等に掲載し、広告を行うため、いずれにも掲載が可能な人に限る。なお、広報以外での目的には一切使用しない。
- ◆なお、写真等の掲載が困難な人は個別に相談すること。
- ◆スピーチ原稿の著作権は、実行委員会に帰属する。
- ◆スピーチ原稿を提出した後のスピーチ原稿内容の変更は不可とする。
- ◆提出されたスピーチ原稿の返却は行わないため、必要であれば事前にコピーをすること。
- ◆必ず所定の様式を使用すること。所定の様式以外での応募は不可とする。

9 申込書及びスピーチ原稿受付期間

令和7年7月7日（月）～9月5日（金）（必着）

10 提出先

(1) 窓口 大野城市英語・日本語スピーチコンテスト実行委員会
(大野城市役所 新館3階 コミュニティ文化課内)

(2) 郵送 〒816-8510 大野城市曙町2丁目2番1号

大野城市役所 コミュニティ文化課内

大野城市英語・日本語スピーチコンテスト実行委員会 宛て

(3) E-mail shakai@city.onojo.fukuoka.jp

11 審査

- (1) 審査員 実行委員会が委嘱した者
- (2) 審査基準
 - ア 言語（発音、用語、文法など）
 - イ 内容（論旨、構成など）
 - ウ 態度（スピーチの内容に適した表現態度など）
 - エ 時間（制限時間遵守）

12 表彰

<スピーチコンテスト>

- (1) 英語部門（中学生の部）
 - ア 最優秀賞（1名）……………賞状、表彰盾
 - イ 優秀賞（1名）……………賞状、表彰盾
 - ウ 審査員特別賞（1名）……………賞状、表彰盾
- (2) 日本語部門
 - ア 最優秀賞（1名）……………賞状、表彰盾
 - イ 優秀賞（1名）……………賞状、表彰盾
 - ウ 審査員特別賞（1名）……………賞状、表彰盾

出場者全員に参加賞を授与する。

<英語発表会>

- (1) 英語部門（小学生の部）

出場者全員に参加賞を授与する。

13 コンテスト実施における留意事項

- (1) 個人情報に関する取扱い

申込書に記載された個人情報（学校名、学年、氏名、スピーチタイトル）及びスピーチ原稿、当日の様子（写真や映像）については、当コンテストの実施及び下記の事項以外での目的には使用しない。

【個人情報の利用事項】

- ・プログラムへの掲載 ・会場内アナウンス ・報道機関等への提供
- ・市の広報紙等への掲載 ・来場者用の和訳集の作成

- (2) コンテスト開催の中止

応募者数が各部門の定員を大幅に下回る場合、該当部門のコンテストは開催しない。
なお、感染症等の拡大状況によっては、中止の場合がある。

14 異文化体験型事業の実施

上記コンテストと併せて多文化共生のまちづくりの観点から、広く市民の国際交流の機会となるような異文化体験型イベントを実施する。実施に当たって、JICA 等の国際交流に係る団体へ協力を依頼することとし、イベント内容については、本実行委員会内にて検討を行い決定する。

15 申し込みと問い合わせ先

大野城市英語・日本語スピーチコンテスト実行委員会

〒816-8510 大野城市曙町2丁目2番1号

大野城市役所 コミュニティ文化課内

TEL 092-580-1812 FAX 092-573-7791

E-mail shakai@city.onojo.fukuoka.jp